

One decade Next decade (10年・次の10年) *Le progrès* = 進歩・全進



1. 働く

(1) 働きやすく魅力ある職場の実現に向けた労働条件と職場環境の改善

- 1) 組合員が安全・安心に働くことができる職場環境の実現に向けて労使協議会・安全衛生委員会において、「健康増進・労働災害防止・長時間労働抑制」について労使で目標を確認し、進捗と対策を話し合い改善に取り組みます。

(2) 目標を明確にした生産性向上の実現

- 1) 労使で会社方針をともに理解する場を実施します。労使協議会にて会社方針の理解を深め、職場におけるムダ・ムラを集約し、作業・業務改善を通じて生産性向上を目指します。

(3) 社会の変化、ライフステージに合わせた多様な働き方の実現

- 1) 本部が実施する組合員が多様な働き方について学ぶ機会に組合員の参加を促します。

2. 暮らす・生きる

(1) 社会貢献活動の推進とボランティアマインドの醸成

- 1) 「マイハート基金」について、グループ活動の際に紹介・啓発を行い、組合員のボランティアマインドの醸成を図ります。

(2) 組合員が学び体験できる機会の実現

- 1) 最先端の流通・サービス業の取り組みを学ぶ機会として、流通視察を他グループと合同で実施します。
- 2) 人生をより豊かにするために、本部が実施する職場以外で人生を考える機会に組合員の参加を促します。

(3) 社会とのかかわりの日常化と課題解決に向けた活動の構築

- 1) 第27回参議院議員選挙における、組織内候補予定者並びに推薦候補者の必勝に向けて、組織の総力を結集し取り組みます。
- 2) 各級選挙において公民権行使運動に労使一丸となって取り組みます。
- 3) 政治活動の日常化に向けてパートナー議員やUAゼンセン組織内議員との交流の場を設けます。

3. 組織基盤

(1) 組織基盤である組合役員体制と組織運営の確立

- 1) 課題解決サイクルの強化を目的にグループ内の体制を再構築し、全店にユニオンサポーターを配置します。
- 2) 期首に活動目標を設定し、活動を推進します。
- 3) 職場に組合がある状態をつくるため、新たな組合役員を発掘・育成します。
- 4) オルグ活動や労使協働企画などを通じて組合員の参加・参画意識を醸成します。

(2) 組合員教育

- 1) 新人組合員に対し、組合活動に対する理解を深め、組合員の権利と義務について学ぶ機会として入組式を実施します。

(3) 組合役員教育

- 1) 組合役員としての役割を認識し、活動に必要な知識を学ぶことを目的に本部主催の基幹教育に役員を派遣します。

(4) 広報

- 1) グループ版ワークズクリップを2カ月に1回の頻度で発行します。
- 2) LINEお友だち登録拡大の取り組みを継続して行ない、すべての組合員の手元に情報が届く状態を目指します。

(5) 総務・財務について

- 1) 期首に規定・活動のルールについて役員への周知の機会を設けます。
- 2) リスク監査結果を基にグループ執行委員会で業務改善ミーティングを実施し、改善に向けた取り組み内容を確認します。
- 3) 有事の際の情報伝達の方法について整理し、労使間およびレポートラインの確認をします。